



『全世代へのビジョン』

かつて、教会の将来、先を見てどうしたら変わるかばかりを考えていたことがありました。過去にとどまっていたはならない、と。でも、イエス様の愛する教会の未来は、主の手の働きを過去から見た現在の延長線上にあることがわかった時、過去を感謝することの大切さがわかりました。そこに注がれた神様の愛と情熱を見逃してはならないと。その姿勢で、現在語られている神様のことばをしっかりと聞くこと、その先に神様の未来を信仰の目で見るのが大事なことだと気づかされました。

今回の単ペン大会では、小さなお友達から若者、年配の方々まで、世代と教会を超えて集まり、エネルギーと活気を感じました。本当の意味で世代が繋がっていくのは、主の与えてくださる霊の火を受継いで、渡していく時だと思えます。気づいたら灰を渡していた、ということは避けたいですね。今回のみことばを通して語られたアブラハム、イサク、ヤコブに渡る3世代

の祝福は、まさに今の時代にも流れています。全ての世代が聖霊に満たされ「老人は夢を見る、青年は幻を見る、こどもたちは預言する。」もし、信仰の目で見えたのなら、必ず見た通りになります。かつてアブラハムの目を創造主の次元にまで引き上げさせた神様は、21世紀に生きる単ペンの諸教会にも、同じ星を見せてくださっています。イエス様を指し示し続ける聖霊様と共に宣教に携わること。それは歴史を通じて主ご自身から受け継いだ各世代の課題であり、各世代へのビジョンです。一緒に走りながらも世代は交代していきますが、イエス様だけがどの世代になっても生きている。イエス様だけがどの世代にも働くことができる。だからイエス様を求め、人々の人生にイエス様を残していく働きを聖霊様と共にしていきましょう！「さあ、天を見上げなさい。…あなたの子孫はこのようになる。」創世記 15:5

(稲福 薫)

「バトンの引き継ぎ」

2006年6月15日、私が教会のない町、鹿児島県加世田市にとりなしの祈りをするために行った日、主が私に「あなたがここに来なさい」と語られました。予期せぬ語り掛けに一瞬戸惑いましたが、すぐに「分かりました。でも一年待ってください。あなたのみこころなら一年後に準備をしてこの町に来ます。」と応答いたしました。2007年4月、私は31年間働いてきた牧師の働きを息子に引き継ぐことにし、牧師就任式を行いました。実は、もしこの主の語り掛けがなかったなら、私は退職するまでこの教会を離れるつもりは全くありませんでした。

さて、働きを引き継ぐ時に心がけたことは、絶対に委ねた教会の働きに干渉しないことでした。ある意味、冷たく無責任のように思われるかもしれませんが、このことを心にしっかりと刻みました。たとえ手を出したくなるようなことがあったとしても、委ねた人自身が助けを必要としない限りは手出しをしないと決めて、すべてを任せました。もちろん、私自身が必要とされる場合は、喜んで助ける覚悟もしておりました。

牧師の働きは、孤独な面があります。人には頼らないで主にだけ頼る学びをしなければなりません。精神的も、経済的にも、すべての面において主に信頼することの訓練が必要とされます。私を導いてくれた宣教師は、働き人になって間もない私を訓練するために、限りなく早い段階で、働きを私に任せ、精神的のみならず物理的にも遠く離れた場所で開拓の働きをされました。まさに、三世代のバトンの引き継ぎが行われました。私はただ、その流れを主に与えられたチャンスを持って実行しただけです。家内と私はいつもお互いにながきながら話しています。「私たちはスリヤ先生が歩まれた同じ道を歩んでいるんだね。」と。素晴らしい信仰の歩みの模範者を与えてくださった主に心から感謝いたします。ハレルヤ!



2007年 牧師就任・交代の日

(上田正美)

TPKF 「東日本支援特集」

2011年3.11から3年が過ぎ、いよいよ日本の中で、東日本が遠くに感じ始める兆しが見え隠れしています。3年前の3.11直後、主は私たちに1か月にわたる“連鎖祈禱によるとりなしの祈り”の思いを与え、“10年越しの長期支援”を考えるように導いてくださいました。また、TPKF全体としても東日本へのボランティア基金が設立され、何度もTPKF教会が東日本を支援することを助け続けてくださっていることをご存知でしょうか。



たこ焼で交流

2013年9月、私たちは1年ぶり3回目となる仙台、気仙沼訪問をすることができました。今回は、アジアアウトリーチからの義援金により購入した本（未信者の方も知る

星野富弘さん、日野原重明さんの詩画集、証しの本や、子ども向けのマンガ聖書、その他読みやすい信仰良書）をたくさん用意し、家を復興された仙台市若林区のOさん、気仙沼市のUさんと仮設住宅の皆さん、またホープセンターを通してお会いしたIさんにお届けすることができました。

1年ぶりにお会いした皆さんはやはり笑顔でしたが、出会

うことで、その陰での様々な苦労をお聞きします。再建のめどが立たず仮設をでることが考えられない方々。再建した家の周りに住民が戻って来られない現実。再建した後にでた国の方針により、土地を2mかさ上げするために壊されなければならなくなった再建されたばかりのお宅。義母が津波でいまだに行方不明である若い家族の葛藤。どれも、被災した方にしかわからない痛みなのです。

そんな方々と、1年の内にたった1日、2日しか時間を過ごせない私たちに出れることは何なのか…。「あなたたちの事を覚えている主がおられ、私たちがいます」というメッセージしかないようにも思うのです。微力ながら、毎年



1年ぶりの再会に笑顔



3才児のシャッターに笑顔がこぼれ...

とともにクリスマスの贈り物、お手紙や年賀状の交換を通して、これからも東日本の愛する方々に寄り添える教会でありたいと願います。祈りと支援の必要を見る旅でした。

て、これからも東日本の愛する方々に寄り添える教会でありたいと願います。祈りと支援の必要を見る旅でした。

(上田勇矢)

TPKF 諸教会の恵み

《イースト》



伊勢原聖書キリスト教会では11月17日の日曜日に、初めての試みとして『コンサート礼拝』をしました。ゲストは国立音大出身で17年ほど前にクリスチャンになられた知保子・コストナーさんです。ご主人は新生宣教団で印刷の技師をしている方でドイツ人です。ふだん知保子さんは自宅でピアノ教室をしていますが、日曜日は教会で奏楽と賛美リードをしています。彼女が一般のシンガーソングライターと違うところは、そのメロディーが天から聞こえて来て、それをピアノで再現し、その時思わされたことや与えられたみことばの歌詞をつけているということです。すでにファーストアルバムのゴスペルCD「Sound From Heaven」が発売されています。今回は7曲賛美してくださいました。今後の活躍が期待されます。ネットで『知保子・コストナー』と入力して検索すれば、賛美の動画を見ることができます。

(伊勢原聖書キリスト教会 藤原正臣)

《FCMF》

小松南部キリスト教会の鈴木啓子先生へのインタビュー

① 現在の教会の様子はどのようですか？

⇒中堅の信者さんに加えて、若いカップル子育て世代が増えています。又、クリスチャンホームで育った子供たちがユースとなって礼拝で奏楽の奉仕をしています。礼拝は、感謝なことに赤ちゃんの元気な泣き声と豊かな賛美が入り混じっております。

② 教会が課題とすることは何ですか？

⇒まずは、一人一人が主との親しい関係に入ること……ディポーションの確立から始まり、主の御声を聞けるようになることです。又、親となった者たちが、子供の信仰の継承、主に在る子育て、教育を真剣に受け止めて実行できるようになることです。

③ これからの教会のビジョンは何ですか？

⇒教会である一人一人が、主との親しい関係の中で、主を愛するものとなること。成熟したキリストの花嫁として立て上げられ、それぞれが置かれたところでキリストの証人となり、神の愛と力を現し伝道して人々が救われるこ



と。御霊の実と御霊の賜物の両方があるようになること。父の日、母の日、子どもの日などの祝福の会など、皆さんが来やすい開かれた教会になることです。(聞き手：札幌 緑)

《キリスト福音》

水口キリスト福音教会では、子どもクリスマス会を教会の近くにある地域で行い、参加した子どもは161名でした。感謝!

(オリカイネン マルク)



「滋賀県大津市 日本フィンランド学校から」



ハレルヤ! 主の御名を賛美します。私たちは家族で2012年12月に日本フィンランド学校に引っ越しました。ここは私が小学校から高校までの

10年を過ごしたところで、当時はフィンランドの教育をフィンランド語でしていく学校でした。宣教師たちの帰国にともなうすでにフィンランド学校としての活動は終わりました。

今は教会の様々な研修会やキャンプのために活用されています。日帰りの祈祷会やセミナー、それに一泊二日のキャンプ施設としてご利用いただいています。施設の周りは自然に囲まれています。山登りや川遊びもできるので子どもと一緒に来ても楽しいです。

都会の忙しさから離れて主の恵みに浸りたいときにはぜひご利用ください! (レフトサーリ神之助)

〈第51回TPKF大会のご案内〉

ハレルヤ! 昨年の第50回TPKF大会はとても恵まれたすばらしい聖会でした。今年はキリスト福音教会が担当させていただきます。昨年にもまさる聖会にしていきたいと考えています。準備のために、お祈りください。また、期待してご参加ください。(キリスト福音 議長)

日時：2014年8月19日(火)～21日(木)

会場：希望ヶ丘青年の城(滋賀県蒲生郡竜王町薬師1178)

講師：マルコ・セルコマ一師 講師の紹介は次ページにて。



TPKF 全国各地の情報・報告

<イースト> 「新年聖会」

2014年1月2日、御殿場純福音キリスト教会において新年合同聖会が行われました。年に一度の全体集会とあって大勢の兄弟姉妹が参加し、ともに賛美をささげ、祈りをささげ、近況を分かち合い、御言葉に耳を傾ける素晴らしいひと時でした。毎年準備をし、迎えてくださる御殿場の教会の方々に、この場をかりまして心より感謝申し上げます。

メッセージは木幡キリスト福音教会の中坊久行先生。イザヤ書43:18～21から。荒れ地に川を、という個所からワジ(すっかり干上がった川)に勢いよく水が流れ込むというめずらしい映像を交えながら、「誰でも渇いているものは私のところに来なさい。」というイエス様のおことばをわかりやすく教えてくださいました。また、そのことに関連し少年院での教誨師の働きを通して、強制しても人間は変わらない、イエス様との出会いによって人は変わるのだということをもっと体験したとお話を語っていただきました。私自身十代の息子が二人おります。ついつい言葉で教え諭そうとしてしまうことが多いのですが、まず息子たちが個人的にイエス様ともっと親しくなることを励ますことが大切なのだということを改めて思われました。

(栄シャローム福音教会 小山英児)

<FCMF> 「みんなで手作りクリスマス」



昨年12月22日(日曜日)、クリスマス礼拝に続きランチ、そして祝会が持たれました。祝会では、ギター初心者も混ざった「ハレルヤブラザーズ」のきよしこの夜♪、お馴染みのハーモニカ演奏、幼い3人兄弟「クリスマスだ!イエス様」チームの聖誕劇は可愛いさ満点、中高生中心の「ごすやん(学生集会の名称)」チームのあふれる愛と主を見上げて♪、教会員によるLiveとあらゆる世代が出しものを発表しました。教会員の知人の手作り卵シフォンケーキ、教会員が親子で作ったクッキーの盛り合わせにフルーツヨーグルト、あらゆるデザートが所狭しと並び食べても食べてもなくなりませんでした。いつもと違う会場設定、教会員全員協力の出しもの、手作りデザートの山、Wプーさん&ステッチの着ぐるみを着た学生たち、休んでいた人の参加、初めての方々も加えて、恵みと楽しみがいっぱい、愛のこもった手作りクリスマスとなりました。

救い主イエス様の誕生を、今日も心よりお祝いいたします。

(グローリーチャーチ 敦賀自由キリスト教会 札場みどり)



<キリスト福音> 「キリスト福音教会新年聖会」

2014年1月13日(月祝)、滋賀県野洲市にあるさざなみホールにおいてキリスト福音教会新年聖会が行われました。今回は水口キリスト福音教会が担当し、準備や奉仕をしてくださいました。講師は京都中央チャペル主任牧師の藤林イザヤ先生でした。火の出るような熱いメッセージを通して、救われた恵みと救霊の勧めを語っていただきました。またKBIから学生たちが応援に来てくださり、午後のワークショップのお手伝いをしてくださいました。

会場のフロントにはブックショップ「福音の家 KYOTO」、「アジアをキリストへ」紹介のブース、放送伝道を支える会主催バザー、守山キリスト福音教会のカフェコーナーなどが設けられました。ホールに向かう長い廊下には、各教会を紹介するパネルが展示されていました。集会の合間の休み時間には、兄弟姉妹が楽しそうに見てまわっていました。

大阪、京都、滋賀、福井から集まったたくさんの兄弟姉妹が、一緒に賛美し祈る姿は迫力があります。神様の豊かなご臨在をたっぷり味わい、励ましと力を頂くことのできるすばらしい聖会となりました。(置田信也)



教会紹介展示



ワークショップ

<単ペン大会2014 講師 Information >

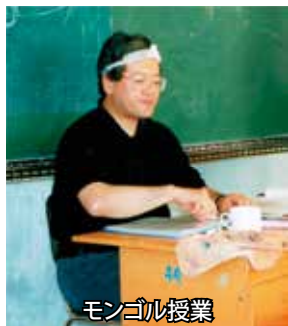
マルコ・セルコマー 伝道者

今年、8月のTPKF大会メイン講師のマルコ・セルコマー師は13歳でイエス・キリストを信じてクリスチャンになる。ヘルシンキ・ラヘトウスセウラクンタ教会の牧師として3年、カナダのタンダーベイ市のバイリンガルの移民教会で13年間奉仕している。カナダでセルコマー師はバイリンガルの移民教会の牧師として働き、もう10年近くヨーロッパの国々の他、ケニア、ウガンダ、インド、アメリカ等で福音宣教を行っている。今年、フィンランドの50の町と、8カ国に宣教に行く。彼の説教はユーモアがあり分かりやすい。集会では癒しと聖霊の満たしのために祈り、多くの方々が癒され満たされている。「福音を語り、イエス・キリストを通して個人的に神様を知るように導くのは、私の一番の喜びです。」と語る。(オリカイネン マルク)

TPKF 宣教地からの便り —吉田隆師—

宣教地での秘密の出来事②

前回、2013年2月に発行されたNo.108号の記事で、モンゴルで自動車事故に遭ったお話をさせていただきました。傷を負って、頭から血が出ているのをウェット・ティッシュで押さえて宿まで到着し、そこに往診の医師が来られたのです。お医者様は言いました。「これは傷が深いですから、病院に行って縫ってもら必要があります。」これは大変なことになりました。これから、訓練会が始まるようにしているというのに、病院に行かなければなりません。



モンゴル授業

訓練会のことは他の先生方にまかせて、通訳者と私はこの町で一番大きな病院に向かいました。到着すると、診察室に通され、通訳者が先生に説明しました。手術室でも、何でも無い、普通の診察室で、

お医者さんは「では、これから縫います」と言って、糸のついた鍼を取り上げたのです。「ちょ、ちょっと待ってくださいよ。麻酔とかしてもらえないのでしょうか？聞いてみてください！」通訳の人に頼みました。お医者様は「わかり

ました。」といて、麻酔の注射を取り出すや、私の頭にめがけて注射針をさしました。「痛〜い！」注射をし終わって、シ



モンゴル山羊

ョッキングブルーのヨードチンキのような薬を頭にぬるや、早速縫いはじめました。「え、えっ？今、麻酔の注射したばかりですよんか、まだ、きいてまへんがな」と心の中で叫んだのですが、時既に遅し、でした。

傷口には、ガーゼ。包帯の代わりにネットをかぶりました。「これは、えらいことになったぞ、おおごとや！」と心の中で考えました。頭の前の方の傷を縫い終わると、お医者さんは、手をあげてバランスをとるような格好をしてみるように、言います。そして、これからレントゲンを撮るといのです。「ちょっと、順番逆なんちゃうの？」心の中の叫びが、口に出ません。

しばらくレントゲンの結果を待って、お医者さんが言いました。「大丈夫です。異常はないようです。」感謝します。しかし、……。続きは次回のお楽しみです。

TPKF 三役からの提言 —TPKF代表者会議の議事録から—

第64回TPKF代表者会議が岐阜の長良川で持たれました。議題から抜粋してコメントさせていただきます。

1. 第50回TPKF大会余剰金70万円の振り分け。本部



50周年大会

会計に30万、ユース基金に30万円振り分けられたが、ユースの育成のために活用することができる。また、献身者の育成機関であるKBIに10万円の献

金がなされたが、KBIの経済的必要、霊的必要が満たされるよう祈りたい。

2. TPKF第51回大会……今年の担当は関西地区。日時は8月19日(火)～21日(木)滋賀県希望ヶ丘青年の城で開かれる。講師はフィンランドや世界で用いられているマルコ・セルコマー師。ルノリナ師によれば、一緒に奉仕したこともあり聖霊に満たされた素晴らしい器だ、とのこと。

3. 新しい世代の増加……アンケートの数字に若い世代が増加していることが見られる。50回TPKF大会で三世代別々の集いが同時進行で進められたが、実に画期的な企

画であり、将来の見える大会だった。

4. 次世代の牧師……50周年の大会終了直後、次世代の牧師たち



次世代牧師たち

が10名前後が祈りのスクラムを組んでいた。TPKFの今後の重要なシンクタンクとなる次世代だ。2年前の大会で出されたアンケートに10年後のTPKFについて夢が語られたが、すでにいくつかは現実のものとなっている。これらを踏まえて、今後のTPKFへの手だてを祈り、提言をお願いし、それぞれの分を果たしつつ一緒に走らせていただきたい。

5. リーダーシップ・インスティテュート……次世代との協力の中で神の国が前進する大事な学びと実践の機関となるはずだ。

6. ペンテコステ誌次期編集委員……115号(2014年9月)から次の編集委員が携わってくださる予定。各グループから編集委員が集まって作り上げていく。ペンテコステ誌の無料化については、継続審議事項。

〈関西聖書学院〉

2014年明けましておめでとうございます。昨一年間も尊いお交わりとご支援にあずかりました。



初めに私自身のためのご禱援に感謝します。昨年2月4日の事故でしたので、もうすぐ一年になります。後遺症の痛みやしびれが残っていますが、続けて奉仕することが許され本当に感謝です。KBIの「十字架、聖霊そして宣教」は今後も変わりありませんが、宣教の方向性と理解が広がられています。従来は世界宣教、宣教師の輩出が強調されていたかもしれませんが、さらに日本が世界の祝福となるためには、国内の宣教が力強く推進されることが不可欠です。今示されていますことは「教会成長から教会増殖」への強調点の移行です。信徒の方々の証しの恵みが引き出されて、その生活圏が宣教の息づくところとなっていくことです。そのための



学生訓練です。彼らが遣わされた先々で「次の世代の弟子を養成しうる主の弟子となること」それが目標です。

(大田裕作)

〈消息〉

*森田令信(もりたよしのぶ)師(丸岡福音キリスト教会名誉牧師)は、2010年11月下旬に低血圧による脳障害を起こされ、闘病生活が続いておりましたが、2013年11月26日 午前3時15分 うつ血性心不全にて74歳で天国に凱旋されました。生前より、「葬儀は教会にて行ってください。」との事ですので、丸岡福音キリスト教会にて11月27日午後7時から 前夜式、28日午前10時30分より、告別式を執り行われました。闘病生活において、皆様の温かいお祈りと励まし、生前の主にあるお交わりを感謝いたします。ここに御報告させていただきます。(菅原純次)

*結婚:稲葉基夫師(秦野クリスチャンセンター)は昨年11月30日 JEC 泉南福音教会の(旧姓・稲岡) 賜子伝道師と結婚されました。

〈案内〉

*日本ペンテコステ協議会(JPC):研修会が6月12日(木) AM11:00 梅谷悟師(加古川バプテスト教会)を講師に迎え、「育てる」というテーマで開催される。総会は11月27日(木) PM12:00 アッセンブリー教団本部。



イースト新年聖会



キリスト福音新年聖会

単立ペンテコステ教会諸教会(名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会 / 横浜フィラデルフィヤ教会
磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター / 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル
大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 / 甲府カルバリ純福音教会
富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
富士純福音キリスト教会グレースチャーチ / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / 三国自由キリスト教会 / 敦賀自由キリスト教会
武生自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレースチャペル
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ
美濃グレースチャーチ / 岐阜中央チャペル / 本地ガ原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 安曇川キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / ひらかたキリスト福音教会ミラクルチャーチ
須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com

TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>